

2025年度 委員会事業計画・予算案

担当副理事長 加藤大晴
新たな絆が生み出す煌めく海部津島創造委員会 委員長 丹羽貴大

1. 基本方針：

今般、私たち海部津島青年会議所の会員数は減少傾向にあります。より意義のある運動を継続して発信し続けるためには、一人でも多くの同志を迎え入れる必要があります、メンバー全員で会員拡大に取り組まなければなりません。しかし、当青年会議所の会員拡大は個々の力に頼る形が多く、組織としての会員拡大の仕組みが明確になっていないことが課題となっており、安定的且つ効率的に会員拡大ができる仕組みを創る必要があります。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、人々の生活は元の姿へと戻りつつありますが、子供たちの様々な体験の機会は失われてしまいました。そのため、子供たちの自己肯定感は低下し、結果的に何事にもチャレンジする精神が失われることにつながってしまいました。この変化の激しい時代において、私たちは地域の未来を担う子供たちを、自信をもってどんなことにもチャレンジできる人財に育てていかなければなりません。

まずは、メンバー全員が海部津島青年会議所の魅力を共有し、協力して取り組める意識を整えるとともに、メンバー全員で会員拡大が実施できるよう、役割分担や個々の強みを活かした仕組みを創ってまいります。

そして、志同じく地域を良くしたいと願う協働者や、私たちの活動に理解を示す入会候補者を募り、我々と共に子供たちが「成功体験」を得られる運動を展開してまいります。子供たちには活動の過程で生じる様々な困難や失敗を乗り越え「成功体験」を得ていただくことでチャレンジ精神を養っていただきます。また、協働者や入会候補者には、青年会議所だからこそできる運動発信の仕方があることを知っていただくことで、地域の子供たちを成長させる場を共に築き上げる喜びを分かち合います。

さらに、青年会議所活動で得られる魅力を伝えることで、入会候補者を我々の組織へ迎え入れます。

本年度の活動を通して、子供たちを自主的にチャレンジできる人財へと成長させることは、海部津島地域の未来を輝かせる確かな原動力となります。さらに、共に絆で結ばれた新たな同志をメンバーに迎え入れることで、運動の発信力を向上し、活気ある組織の原動力となります。そんな2つの原動力により、海部津島地域の活気と笑顔を創造していけるよう、一年間邁進してまいります。

2. 事業計画並びに活動予定：

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 2月例会の担当 | 2月 |
| (2) JCデー（8月例会）の担当 | 8月 |
| (3) 10月例会の担当 | 10月 |

(4)	JCI 日本 京都会議の担当	1月
(5)	JCI ASPAC の担当【ウランバートル】	6月
(6)	東海地区 東海コンファレンス 2025 の担当【愛知】	8月
(7)	JCI 世界会議の担当【チュニス】	11月
(8)	防災に関する担当	通年
(9)	新入会員募集の担当	通年
(10)	新入会員予定者のオリエンテーションの担当	通年
(11)	新入会員の拡大	通年
(12)	新入会員の育成	通年

3. 委員会メンバー :

丹羽貴大 大笹優仁 石川裕之 伊藤翔太 久保馨 小島隆史 山口陽子 富山涼介

4. 事業予算 :

収入の部	事業費	0
<hr/>		
支出の部		0
<hr/>		
合	計	0